

道路概略検討
（3北南－小金井3・4・11外2路線）

報 告 書

令和4年12月

東京都建設局北多摩南部建設事務所

 株式会社 復建エンジニアリング

目 次

第1章 業務概要	1-1
1.1 業務目的	1-1
1.2 業務概要	1-1
1.3 実施方針	1-3
1.3.1 道路概略検討（小金井3・4・11号府中東小金井線外）	1-3
1.3.2 環境調査計画検討（小金井3・4・1号三鷹国分寺線）	1-5
1.4 業務実施フロー	1-7
1.5 打合せ計画	1-7
1.6 成果品の内容、部数	1-8
1.7 使用する主な図書及び基準	1-8
第2章 道路概略検討（小金井3・4・11号府中東小金井線外）	2-1
2.1 道路概略設計	2-1
2.1.1 概要	2-1
2.1.2 過年度成果と関連計画	2-1
(1) 過年度成果の整理	2-1
(2) 小金井3・4・11号線計画予定地の地域地区、上位関連計画	2-8
(3) 関連計画と比較項目の関連	2-29
(4) 地元から寄せられた意見	2-31
2.1.3 路線選定及び主要構造物計画	2-47
(1) 設計条件一覧表	2-47
(2) 本業務の設計条件	2-48
(3) 道路構造の整理	2-65
(4) コントロールポイント	2-68
(5) 路線選定及び主要構造物計画	2-70
(6) 検討図	2-80
(7) 施工計画	2-93
2.1.4 比較検討	2-99
(1) 比較検討項目の分類	2-99
(2) 各比較項目の分類	2-106
(3) 比較項目の総括表（道路概略検討）	2-148
(4) 比較表（道路概略検討）	2-150
2.1.5 概算工事費	2-187
2.1.6 設計図	2-277
2.1.7 協議用資料	2-290

2.2 環境影響予測及び評価検討	2-296
2.2.1 地下水	2-296
(1) 地下水等の状況	2-296
(2) 予測・評価及び環境保全対策の検討	2-310
2.2.2 動物・植物	2-318
(1) 動物・植物の状況	2-318
(2) 予測・評価及び環境保全対策の検討	2-366
第3章 環境調査計画検討（小金井3・4・1号三鷹国分寺線）	3-1
第4章 打合せ記録簿	4-1
第5章 現地踏査写真	5-1
第6章 照査報告書	6-1

第1章 業務概要

1.1 業務目的

本委託は、小金井 3・4・11 号府中東小金井線外について、環境に対する影響等を反映させた道路構造の検討を行い、今後の構造物の工法選定に資する概略検討を行うことを目的とする。

また、小金井 3・4・1 号三鷹国分寺線について、今後の環境概況調査等に資する環境調査計画検討を行うことを目的とする。

1.2 業務概要

(1) 業務名

道路概略検討（3 北南－小金井 3・4・11 外 2 路線）

(2) 業務場所

東京都府中市多磨町二丁目地内から小金井市東町五丁目地内まで

(3) 路線名

- ・ 小金井 3・4・11 号府中東小金井線外
- ・ 小金井 3・4・1 号三鷹国分寺線

(4) 履行期間

令和 4 年 2 月 8 日～令和 4 年 12 月 12 日

(5) 業務の概要

本業務の概要を表 1-1 に示す。

表 1-1 業務の概要

項 目		概 要
道路概略検討 (小金井 3・4・11 号府中東小金井線外)	道路概略設計	■ 道路概略設計 L=0.8 km
	環境影響予測 及び評価検討	■ 予測検討 (地下水、動物・植物) ■ 環境保全対策の検討 (地下水、動物・植物) ■ 評価検討 (地下水、動物・植物)
環境調査計画検討 (小金井 3・4・1 号三鷹国分寺線)		■ 地域特性に関する情報の把握 ■ 環境調査項目の選定 ■ 調査、予測及び評価方法の選定
打合せ協議		一式 (中間打合せ 5 回)

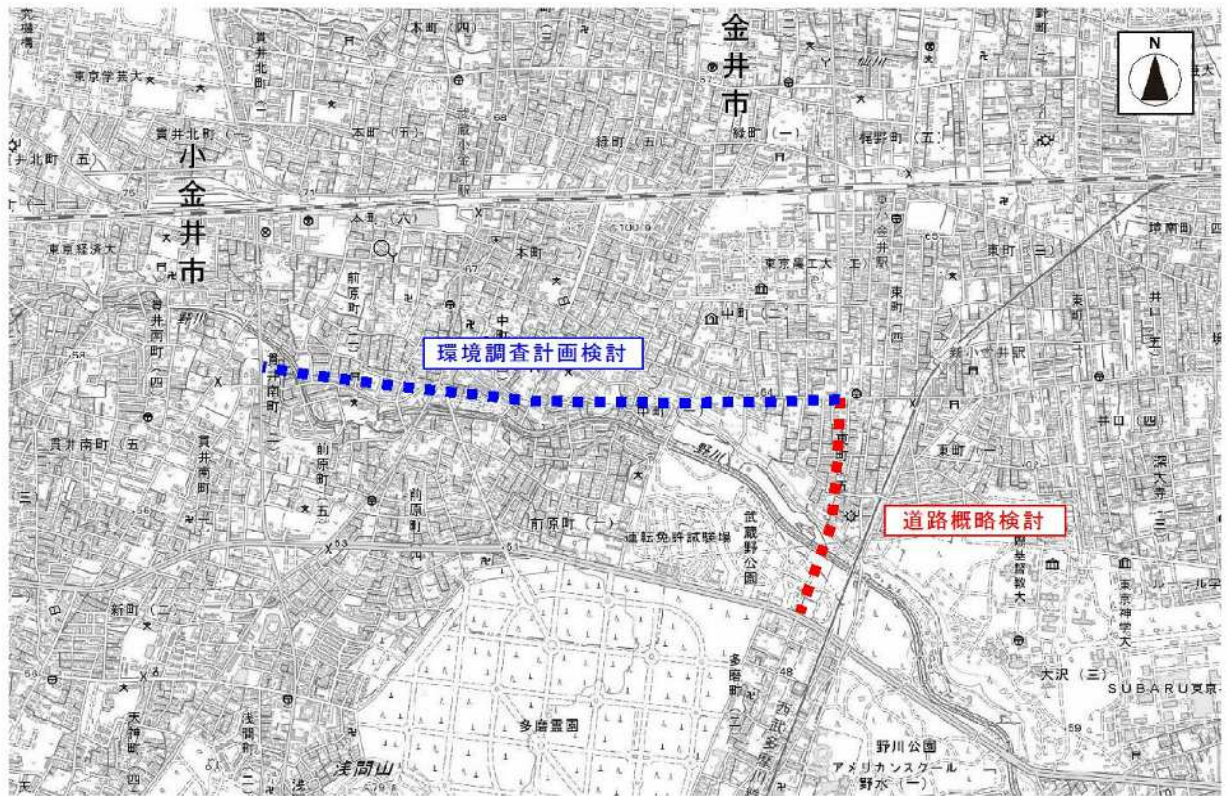


図 1-1 位置図

1.3 実施方針

1.3.1 道路概略検討（小金井3・4・11号府中東小金井線外）

(1) 道路概略設計

小金井3・4・11号線外について、過年度成果及び本業務にて実施する環境影響予測等の結果に基づき、最適な道路構造形式の選定を行う。

また、形式の選定にあたっては、表 1-2 に示す項目についての比較検討を行う。

表 1-2 道路構造形式の選定に係る比較検討項目

比較検討項目
① 動植物への影響、生態系の保全
② 湧水や地下水への影響
③ 大気汚染への懸念
④ 日照や景観への影響
⑤ 緑化面積の減少
⑥ 文化財への影響
⑦ 武蔵野公園の分断
⑧ 地域コミュニティの分断
⑨ 騒音、振動
⑩ 通過交通からの安全性確保
⑪ 南北道路整備による利便性の向上
⑫ 防災性の向上（広域避難場所へのアクセス・避難路・延焼遮断帯）
⑬ 緊急車両のルート確保
⑭ はけ、武蔵野公園等へのアクセス性
⑮ 子供の遊び場の確保
⑯ 通学路の安全性確保
⑰ 沿道利用、沿道地域の活性化

実施内容は道路概略設計(B)に準じ、設計計画、現地踏査、路線選定及び主要構造物計画、設計図および関連機関との協議用資料作成、概算工事費、照査、報告書作成とする。

(2) 環境影響予測及び評価検討

ア 地下水

① 予測検討

事業の実施に伴う地下水への影響について、地域の地下水の状況と事業計画を重ね合わせ、定性的に予測を実施する。なお、地下水の地域特性は、別途実施されている地下水位調査結果等より把握する。

② 環境保全対策の検討

類似事例の環境影響評価の内容等を参考にしつつ、地下水の影響を最小限に留めるための環境保全対策について検討を行う。

③ 評価検討

予測結果及び環境保全対策の検討結果の内容を勘案し、小金井3・4・11号線外に係る道路構造形式の比較検討の一項目として、各案で想定される影響について比較評価する。

イ 動物・植物

① 予測検討

事業の実施に伴う動物・植物の変化の内容及びその程度について、動植物の生息・生育環境等の状況と事業計画を重ね合わせ、定性的に予測を実施する。なお、動植物の生息・生育環境等の状況は、別途実施されている環境概況調査等より把握する。

② 環境保全対策の検討

類似事例の環境影響評価の内容等を参考にしつつ、動物・植物への影響を最小限に留めるための環境保全対策について検討を行う。

③ 評価検討

予測結果及び環境保全対策の検討結果の内容を勘案し、小金井3・4・11号線外に係る道路構造形式の比較検討の一項目として、各案で想定される影響について比較評価する。

1.3.2 環境調査計画検討（小金井3・4・1号三鷹国分寺線）

(1) 地域特性に関する情報の把握

既存の文献・資料等を収集・整理し、対象事業の実施想定区域及びその周辺の自然的状況に係る項目、社会的状況に係る項目について、地域特性に関する情報を把握する。なお、対象とする項目は東京都環境影響評価技術指針に記載されている「別表1 地域の概況の調査内容」を参考とするが、詳細は監督員との協議による。

別表1 地域の概況の調査内容

区分	調査項目	収集・解析する情報内容（例）
一般項目	人口	人口の動態、人口密度、人口分布等
	産業	工場、事業場の状況等
	交通	道路交通状況(道路網、交通量等)、鉄道等の状況(鉄道路線、駅の位置、利用状況等)その他必要な交通状況
	土地利用	土地利用の状況
	水域利用	河川等の分布及び流域の概況、水路等の状況、水域の利用状況、公共下水道の普及状況(合流式・分流式の区分を含む。)等
	気象	気温、風向、風速、降雨量等
	関係法令の指定・規制等 環境保全に関する計画等 その他	関係法令による指定地域、地区、規制の内容等 環境保全に関する各種計画、方針等の概要 その他地域の状況の特徴付ける事項
環境項目	大気汚染	大気汚染の状況
	悪臭	悪臭の状況
	騒音・振動	騒音の状況、振動の状況及び低周波音の状況
	水質汚濁	水質汚濁の状況
	土壌汚染	土壌汚染の状況
	地盤	地盤の概況、地下水位の概況、地盤沈下の状況等
	地形・地質	地形・地質の概況、斜面等の安定性の概況、特異な地形・地質の分布等
	水循環	河川等の形態・水量等の概況、湧水及び地下水の流動状況の概況
	生物・生態系	植物相、動物相、水生生物相、注目種、植生、生態系、緑の量等の概況
	日影	日照・日陰状況の概況、超高層建築物の状況等
	電波障害	放送波の概況、電波障害対策地域の分布、超高層建築物の状況等
	風環境	風環境の状況、超高層建築物の状況等
	景観	地域景観の特性の概況及び高層建物・景観ポイント等の分布状況の概況
史跡・文化財	指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の分布状況、江戸期遺構の分布状況等	
自然との触れ合い活動の場	自然との触れ合い活動の場の分布、機能、利用状況等の概況、自然との触れ合い活動の場までの利用経路の状況等	
廃棄物	廃棄物の処理状況等の概況	
温室効果ガス	エネルギー使用状況の概況、各種目標値等	

資料：東京都環境影響評価技術指針（付解説）、東京都環境影響評価事後調査基準（平成26年3月 東京都環境局）

(2) 環境調査項目並びに調査、予測及び評価の手法の選定

対象事業の内容、対象事業実施区域及びその周辺の概況を踏まえ、環境調査項目を選定する。なお、項目選定は、東京都環境影響評価技術指針に示されている「環境影響要因と環境影響評価項目との関連表」を参考とするが、詳細は監督員との協議による。また、選定した項目ごとに、可能な範囲で調査、予測及び評価の手法について検討する。

別記書式 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連表

(対象計画・対象事業の種類)

環境影響評価の項目	区 分 環境影響 要因 予測する 事項	工事の施行中				工事の完了後			
大気汚染									
悪臭									
騒音・振動									
水質汚濁									
土壌汚染									
地盤									
地形・地質									
水循環									
生物・生態系									
日影									
電波障害									
風環境									
景観									
史跡・文化財									
自然との触れ合い活動の場									
廃棄物									
温室効果ガス									

資料：東京都環境影響評価技術指針（付解説）、東京都環境影響評価事後調査基準
（平成 26 年 3 月 東京都環境局）

1.4 業務実施フロー

本業務の実施フローは図 1-2 に示すとおりである。

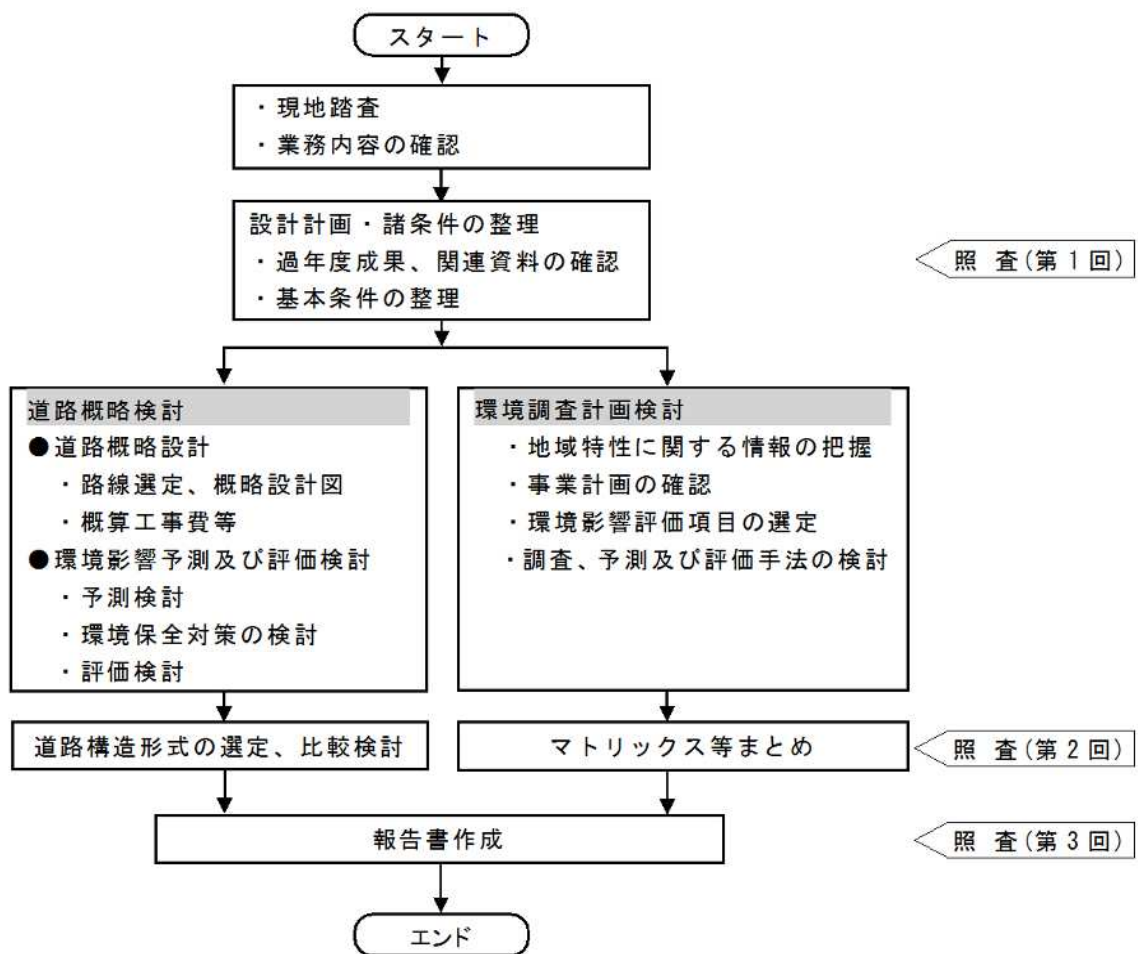


図 1-2 業務実施フロー

1.5 打合せ計画

本業務の打ち合わせは業務着手時、業務中間時（5回）、成果品納入時の計7回とする。

1.6 成果品の内容、部数

成果品は報告書の他、電子納品として下表に示す成果品を提出する。

電子データについては、「東京都建設局電子納品運用ガイドライン」に準じて作成する。

表 1-3 成果品一覧

成果品	概要
報告書（金文字黒表紙製本）	1部
電子データ（CD-R）	2枚

1.7 使用する主な図書及び基準

- ・設計委託標準仕様書（東京都建設局 H27.4）
- ・道路工事設計基準（東京都建設局 R4.4）
- ・道路構造令の解説と運用（社団法人 日本道路協会 R3.3）
- ・道路橋示方書・同解説（社団法人 日本道路協会 H29.11）
- ・道路土工 各種（社団法人 日本道路協会）
- ・道路の交通容量（社団法人 日本道路協会 S59.9）
- ・東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル（東京都 H 31.3）
- ・道路の移動等円滑化整備ガイドライン（財団法人 国土技術研究センター）
- ・東京都自転車走行空間整備推進計画（東京都 R3.5）
- ・自転車通行空間整備に関する設計マニュアル（東京都建設局 R2.1）
- ・東京都環境影響評価条例
- ・東京都環境影響評価条例施行規則
- ・東京都環境影響評価技術指針（付解説）、東京都環境影響評価事後調査基準
（東京都環境局 H26.3）
- ・道路環境影響評価の技術手法（平成 24 年度版）（国総研、土木研究所 H25.3）
- ・その他関係図書